

(公財) 日本体操協会

令和元年度第2回理事会議事録

1. 日時 令和元年9月28日(土) 13時30分～14時50分

2. 場所 TEPIA B1F 会議室 A

3. 出席者 <理事・監事>

出席

二木英徳(会長)、具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、長谷川洋子(副会長)、
荒木達雄(副会長)、山本宜史(専務理事)、山崎浩子(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、
岩瀬史子(常務理事)、加納実(理事)、萩原智子(理事)、加藤裕之(理事)、
川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、田坂利明(理事)、村木啓造(理事)、
高橋史安(監事)、竹田幸夫(監事)

理事 16名

監事 2名

欠席

水鳥寿思(常務理事)、田中光(常務理事)、米田功(常務理事)、遠藤幸一(常務理事)、
竹村英明(常務理事)

5名

<関係者>

出席

渡邊榮(事務局長)、守永直人(事務局)

4名

4. 資料の確認

審議事項

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 審議事項 1 | 顧問に関する内規について |
| 審議事項 2 | 規程改定について |
| 審議事項 3 | 2019年度男子ジュニアナショナル強化選手(U15)について |
| 審議事項 4 | 2019年度日韓合宿選手団派遣について |
| 審議事項 5 | 第37回全日本ジュニア新体操選手権大会
女子審判構成(案)について |
| 審議事項 6 | コーチ育成委員(体操競技)2名の追加について |

報告事項

- | | | |
|--------|------------|---------|
| 報告事項 1 | 新体操世界選手権報告 | *口頭報告のみ |
|--------|------------|---------|

報告事項 2	第 16 回世界体操祭 (16th World Gymnaestrada) の開催について
報告事項 3	2019 年度各部講習会について
報告事項 4	ガバナンスコードについて
報告事項 5	その他

5. 二木会長ご挨拶

世界新体操選手権での金メダル獲得など新体操フェアリージャパン POLA の活躍へのねぎらい、続く世界体操、世界トランポリンへの期待。事務所引っ越しの報告などを挨拶とした。

6. 議長選出

定款 38 条の定めにより、議長は、二木英徳会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

出席 16 名で定款 39 条の定足数に達している。

8. 議事録署名人

規程に従い 二木英徳会長、荒木達雄副会長及び、高橋史安監事、竹田幸夫監事が指名され、議場に諮り、全員異議なく承認された。

9. 新理事紹介

新理事の初めての会議とのこともあり、新ポスト就任理事、新理事の自己紹介が行われた。

竹内副会長

東京オリンピックに向け、一致団結したい。選手第一に進めていきたい。

荒木副会長

一般体操を行っている。全国、世界に体操を広めたい。協力を願う。

長谷川副会長

新体操を担当する。オリンピック成功、新体操の発展に力を尽くしたい。

後藤常務理事

審判委員長も務めさせていただいてる。全競技担当となり、いろいろ学び全力を尽くしたい。

岩瀬常務理事

広報委員長となった。アスリートのマネジメントをしている。社会に体操を PR し、アスリートの応援をしたい。

萩原理事

水連でも理事とアスリート委員長を兼ねている。水連での経験を活かし、ともに発展したい。改革推進とのことで、現在勉強中だが発展に力を尽くしたい。

加藤理事

インテグリティ担当となった。体操ファンのみならず国民全体に応援いただける体制を目指したい。

田中理事

普及担当となった。未来の子供たちが夢見る環境づくりをしたい。

川人理事

富士通で採点システムに携わっている。安全対策担当となり、頑張りたい。

10. 議事

第1号議案 顧問に関する内規について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

顧問に関して、詳細が決められていなかったため、今回、特別顧問の設置および選定内容を整理する。

新たに顧問の対象とするのは専務理事以上役職経験者、本会顧問経験者
特別顧問には国際スポーツ連盟の役職者、役職経験者

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第1号議案は、原案通り、承認・可決された。

第2号議案 規程改定について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

役員の定年に関する規程改定。現在、委員会委員の就任時年齢と再任が不明確であったため、これを明確にするもの。

委員会委員の定年（役員を除く）は就任時年齢の上限を設けない、又、再任を妨げない。

議長は、山本専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

具志堅副会長 今までと違うところは何か。

山本専務理事 規程に委員会のことは明記されていなかった。そのため、委員会について明記。評議員会で指摘され、その指摘に対する対応。

以上の後、第2号議案は、原案通り、承認・可決された。

第3号議案 2019年度男子ジュニアナショナル強化選手（U15）について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

9/8 にトライアウトを実施。その結果により、
中学生 9名、小学生 4名 合計 13名を推薦。

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。
特に、意見もなく、第3号議案は、原案通り、承認・可決された。

第4号議案 2019年度日韓合宿選手団派遣について

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

ジュニアナショナル選手より、海外派遣対象者を除く上位選手より、選考。

スタッフ 2名、選手7名 合計 9名

韓国派遣：10/22-10/27、日本受入 12/3-12/8

議長は、山本専務の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

具志堅副会長 日韓関係がよくないと思う。受け入れ先の韓国の対応はどうか？

山本専務 韓国協会から、問題ないと連絡を受けている。

加納理事 選考大会は何か？

山本専務 トライアウトで選考している。

以上の後、第4号議案は、原案通り、承認・可決された。

第5号議案 第37回全日本ジュニア新体操選手権大会女子審判構成（案）について

議長の指名により、後藤洋一常務理事は下記の説明を行った。

11/14-17、高崎アリーナにて開催。

出身・所属・地域に隔たりがないことを考慮。上級審判を採用。

カテゴリー試験の結果を考慮し、上位の審判員から選出。

D1、D3、E1、E3は本部員と部員を配置。

議長は、後藤常務理事の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に、意見もなく、第5号議案は、原案通り、承認・可決された。

第6号議案 コーチ育成委員（体操競技）2名追加について

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

体操競技の2名の追加委員の承認であります。8月の常務理事会にて補充については承認済み。

追加の2名は 佐藤寿治氏（50才）大阪体育大学 特別強化コーチ

新竹優子氏（28才）順天堂大学 助教

両名とも、公認コーチ資格（コーチ3）を保持

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。

以上の後、第6号議案は、原案通り、承認・可決された。

報告事項1 新体操世界選手権報告

議長の指名により、山崎浩子常務理事は下記の説明を行った。

ご支援応援に感謝。

個人総合 皆川夏穂選手 13位 東京オリンピック出場枠1枠獲得

団体総合 44年ぶりの銀メダル

団体種目別 ボール 史上初の金メダル

フープ・クラブ 銀メダル 計3個のメダル

以上の結果が得られたのはサポートのおかげ。
個人は皆川、大岩千未来の両選手が決勝進出。大岩はミスが出てしまった。W杯シリーズにて、大岩、喜田純鈴でもう1枠獲得にチャレンジする。
皆川は安定感を磨きベスト8を目指す。

団体は難度点を増やす作業を行った。6月末のアジア選手権でウズベキスタンに負けた。原因は難度点。1カ月で難度点を4点増やした。その分リスクも増えたが、ぎりぎりまで構成を見直し望んだ。勝因はミスを恐れず果敢に攻めた結果。

今後は各国からターゲットにされる。芸術面では劣っているところがあるので、0から強化していきたい。

現地でも多くのサポートを受けた。これからも頑張りたい。

意見・質問

加藤理事 今後ロシアでの環境面の弊害はでるのか？

山崎理事 出ないと思う。ロシアの心は広い。

後藤理事 10本通すのはすごい。

山崎理事 他の国は失敗が出ると止めている。他にはない。自己コントロールができていく現れ。

報告事項2 第16回世界体操祭(16th World Gymnaestrada)の開催について

議長の指名により、荒木達雄副会長は下記の説明を行った。

4年に1回の開催。65か国の参加。盛大に開催された。欧州ではテレビ放映されている。日本からは380名の参加。自費で参加。アジアでやれないかとの声もあるが、問題は多い。解決して是非開催を計画したい。次回は2023年アムステルダム。

質問・意見

二木会長 近い将来に日本で開催できるように目指したい。

報告事項3 2019年度各部講習会について

議長の指名により、後藤洋一常務理事は下記の説明を行った。

講習会の日程が決まった。

別紙資料の日程を確認いただきたい。

報告事項4 ガバナンスコードについて

議長の指名により、渡邊榮事務局長は下記の説明を行った。

6月スポーツ庁より発表された。

NFには原則を定めた。4年ごとに適合審査が行われる。

年1回自己説明を行う。項目は13項目ある。

- 1.組織運営の基本計画の策定・公表
- 2.役員体制の整備
- 3.組織運営の規程整備
- 4.コンプライアンス委員会の設置
- 5.コンプライアンス強化のための教育

- 6.法務、会計体制の構築
- 7.適切な情報開示
- 8.利益相反の適切管理
- 9.通報制度の構築
- 10.懲罰制度の構築
- 11.選手・指導者間の紛争解決の取り組み
- 12.危機管理及び不祥事対応体制の構築
- 13.地方組織へのガバナンス確保・コンプライアンス強化の助言指導や支援。

手引きとして、今後対応して行きたい。昨年第三者委員会を設置し、これらに対応は進めている。今後とも前進して行きたい。

質問・意見

高橋監事 いつまでと期限があるか？

渡邊事務局長 来年からセルフチェックが始まる。

竹田監事 年1回の自己説明の公表がある。セルフチェックシートはあるのか？

渡邊事務局長 これを使っていくと思う。

竹田監事 対応委員会を作る必要があるかと思う。

渡邊事務局長 長期的に行っていきたい。

二木会長 ガバナンスコードを尊重し、改革を進めていきたい。

萩原理事 組織図で各委員会の各計画はあるのか？委員会の報告も見当たらない。現状は事業報告が会計情報にある。事業計画と同じページで掲載・閲覧できないか？

山本専務 各委員会は全国代表者会議で予算。報告で一括して行っている。見せ方は変えていきたい。

萩原理事 水連では、1カ月ごとに委員会会議があり、1カ月ごとの計画、報告会がある。情報共有がある。

山本専務 意見ありがたい。対応していきたい。

渡邊事務局長 委員会からの報告は半年ごともらっているが、公表していなかった。HPの事業報告に要約として纏めてある、今後、改善していく。

報告事項5 その他

議長の指名により、山本宜史専務委理事は下記の説明を行った。

- ① 世界トランポリン選手権と世界年齢別選手権大会
11月末から有明体操競技場で行われる。オリンピック予選を兼ねている。五輪組織委員会と協力して準備している。
- ② パルクール日本選手権開催について
11月2, 3日に淡路島で開催する。パソナが開催費用負担。
- ③ トランポリン茨城国体報告（第1回）
9月7日開催。大会は盛大に開催できた。宿泊所は遠かった。茨城が男子2位、女子が3位となった。
- ④ トランポリンWC戦第3戦報告

先週ハバロフスク大会があった。五輪資格の付与がある。女子の森ひかる選手が2位となった。この結果で世界ランキングは森選手が5位、宇山芽紅選手が6位となる。世界選手権で1名獲得して、もう1名はW杯で獲得したい。シンクロも女子は金メダル。

⑤ 執行理事

理事に今回から役務をお願いした。半年を目安に、各計画・報告を理事会で行っていただきたい。

質問・意見

村木理事 パルクール選手権に対する日本協会の立ち位置は？

山本専務 協会は主催だが、主管はパークール委員会がすべてやっている。地方からも委員会を立ち上げたいと意見がある。ぜひ協力していきたい。

村木理事 地元協会は？

山本専務 現状やることはない。

岩瀬理事 特別協力にパソナとなる。

その他

その他意見は無かった。

議長は、すべての議案の終了を確認し、14時50分に閉会を宣言した。

令和元年9月28日

議 長

二 木 英 徳



議事録署名人

荒 木 達 雄



議事録署名人 (監事)

高 橋 史 安



議事録署名人 (監事)

竹 田 幸 夫

